

宝塔山古墳(前橋市)

正面が宝塔山古墳



前方の階段を登ると墳頂へ至る

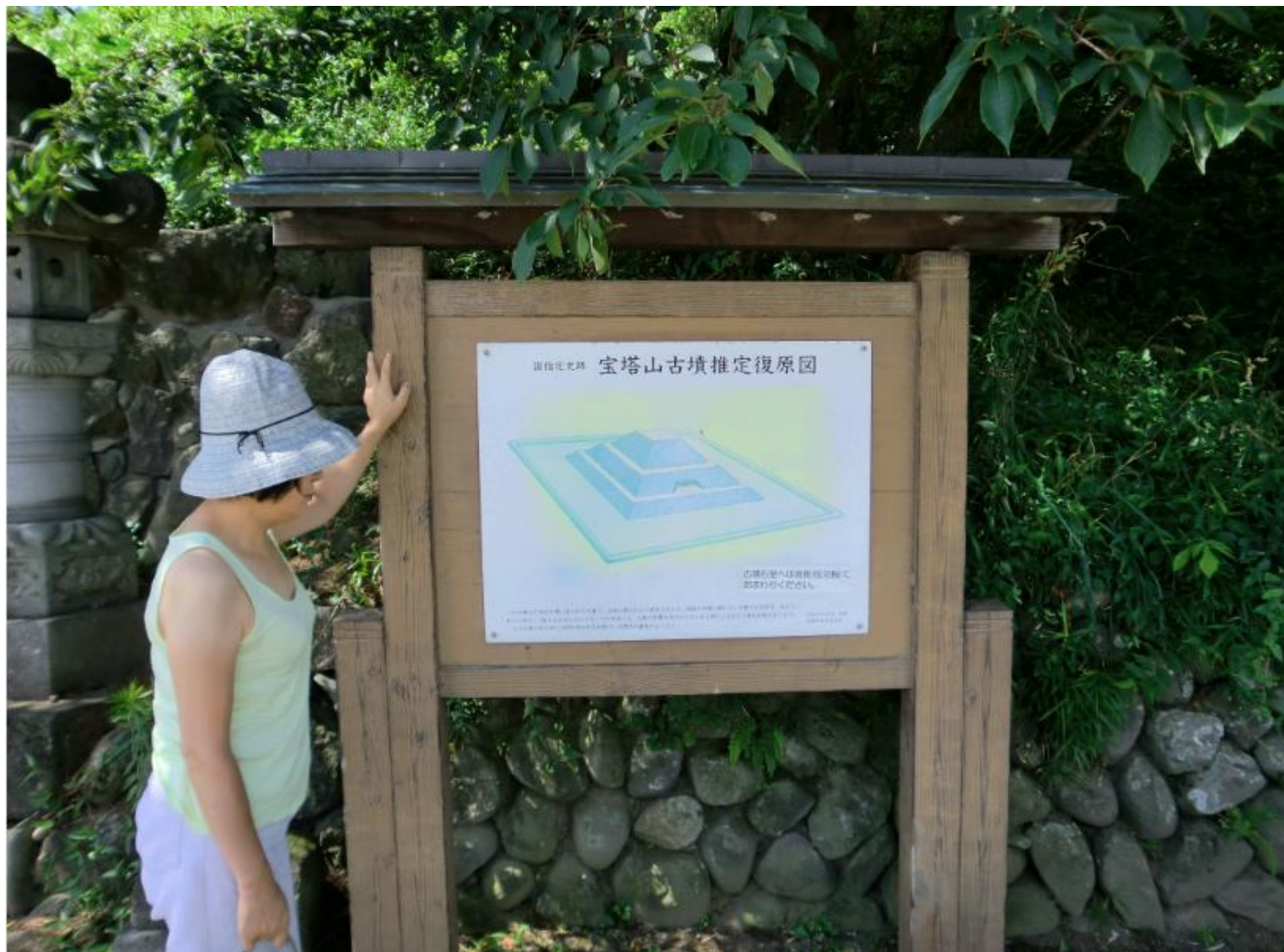


さまざまな石造物



右手は説明板

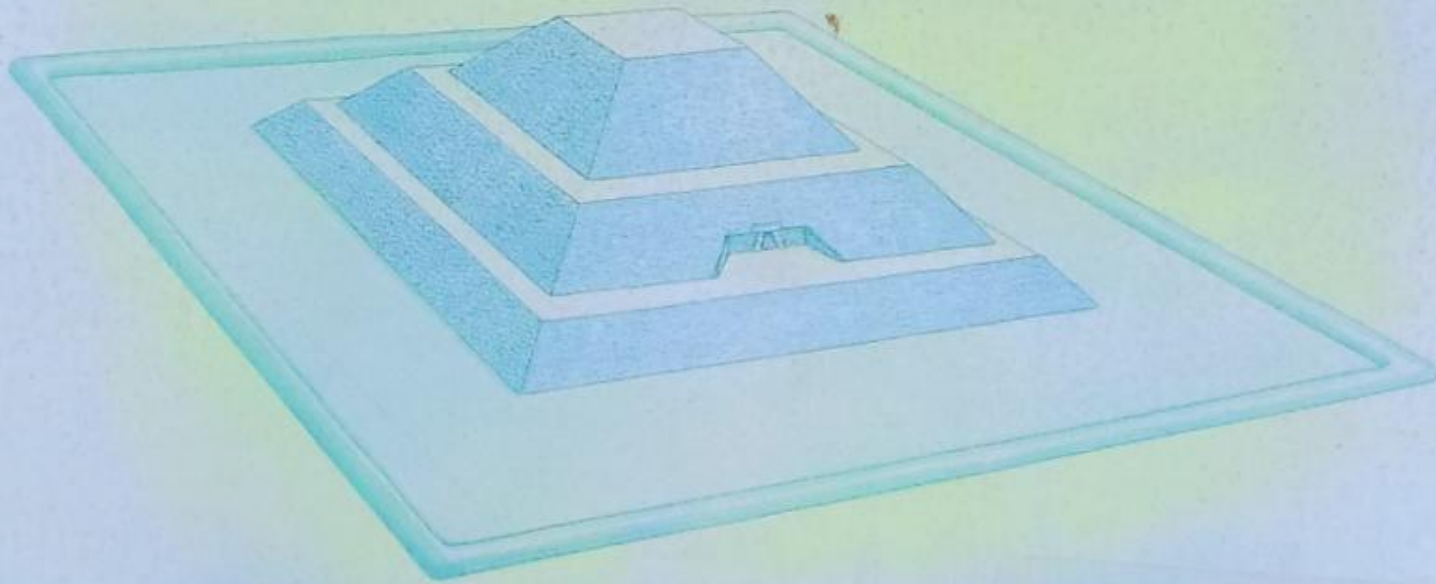




7世紀半ばの方墳で三段築成となっている

国指定史跡

宝塔山古墳推定復原図



古墳石室へは南側(反対側)におまわりください。

この古墳は7世紀中頃に造られた方墳で、3段に築かれたと推定されます。南面の中段に開いている横穴式石室は、石をていねいに加えて組み合わせたものです。その内部には、仏教の影響を受けたとみられる削りこみをもつ家形石棺があります。また古墳の頂上部には総持領主秋元長朝はじめ歴代の墓地があります。

平成6年2月 改定
前橋市教育委員会

右手には光厳寺(コウガンジ)がある



墳頂に登る



この墳頂には江戸時代初期にこの地を治めた秋元氏歴代の墓地がある

前橋市指定史跡

秋元氏歴代墓地

THE TOMB OF THE AKIMOTO FAMILY

指定年月日 昭和56年4月27日

所在地 前橋市総社町総社1606番地

秋元氏は、慶長6（1601）年関が原の戦功によって総社領6千石（のち1万石）を与えられ、長朝・泰朝の2代に渡って寛永10（1633）年まで約30年間この地を治め、善政を施した。

総社領における秋元氏の主な事績は、総社城の築城と城下町の形成、天狗岩用水の開さくと新田の開発であった。

秋元氏は、寛永10（1633）年、甲州（山梨県）都留郡谷村へ1万8千石で所替えとなる。以後、川越、山形、館林と転封を重ねる間、幕府の要職につき、明治維新をむかえることとなる。秋元氏は転封後も悪政に苦しむ総社領民の支援を行い、農民も「力田遺愛碑」を建てるなどして、旧領主秋元氏への感謝の念を忘れなかった。

長朝の法名は江月院殿臣岳元誓大居士、泰朝の法名は照尊院殿道鉄泰安大居士である。

These are the tombs of the successive lords of the Akimoto family, who governed this area, called Soja from 1601 to 1633. The first lord, Nagatomo, governed well and the people loved him.



秋元長朝によって造られた天狗岩用水
（元景寺所蔵 天狗岩郷区より）

正面がその墓地



前方右側が秋元長朝の墓 ↓



秋元長朝の墓



秋元氏は近隣の農民の為、天狗岩用水を引くことに尽力したとのこと

秋元氏歴代の墓



秋元氏歴代の墓



足元には葺き石が見られる





墓地を背面から見る



下を見ると先程の光厳寺境内が見える



境頂を下りる



遠方は赤城山



遠景から宝塔山古墳を見る



左手にグルッと廻ってみる



この一角は光厳寺の所有地か？



ど真ん中に「鐘楼旧跡」なる石碑が立つ



この角を廻り込んで進む/前方右手が宝塔山古墳





中央に石室らしきものが見える



ここから石室へアプローチする/左手は光厳寺



この石段を進む





横穴式石室があった





史跡 室塔山古墳

一辺の長と約五五メートル、墳丘高一
一メートルの規模を誇る方墳である。こ
の規模は方墳として全国的にみ
ても大きい。
主体部は墳丘基壇上に造られた
横穴式石室で、羨道、前室、玄室
の三室にわかれている。石室の壁
は精巧に加工した切石を使用して
積み上げ、随所に切組積の手法も
みられる。特に天井石及び玄室入
口の玄門の加工はみごとである。
石室の規模は、全長一十二メートル、
玄室長三メートル、同奥幅三メートル、三
間である。玄室には家形石棺があ
る。その底部は四辺ともに格狭間
の形にくりぬかれ、古墳への仏教
文化の影響を物語っている。この
古墳は県内古墳の最終末期に造ら
れたもので、七世紀末から八世紀
初頭の頃に位置づけられる。



近くにこんな石が？



墳丘基壇上に造られている



羨道、前室、玄室からなる両袖型の横穴式石室という



ここは石室羨門



続いて前門、その奥に玄門がある



精巧に加工された切石を使用して積み上げられおり、随所に切組積の手法もみられるという



指をさしている所は苔なのか光っているようにも見えた

奥が玄門と玄室/壁面には漆喰が塗られていたという



脚部に格狭間を刳り込んだ精美な家形石棺が安置されている



格狭間状の刳り込みのアップ/仏教文化の影響とされる



玄室の天井石/下は家形石棺の蓋



奥から外を見る



墳丘には光厳寺歴代の墓もあった





元に戻り、更に墳丘を廻り込む/左手は光厳寺の現鐘楼



墳丘を見上げる



左手はお約束のお寺の幼稚園(保育園)か



墳丘を見る



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/GUNMA/maebasi/hoto2.html>

http://www.sukima.com/15_kantou/18houtou.html

<http://members3.jcom.home.ne.jp/yoshi-cp/gmsoujya.htm>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/gunma/maebashi/hoto.htm>

<http://www13.atpages.jp/ootama/page029.html>



インターネットより